

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	美容キャリアデザイン I
実務家教員授業	
学部・学科	美容科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	150時間
授業コマ数	75コマ
授業概要	各講義、演習を通じ実社会での即戦力としての知識と実践力を習得する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習及びディスカッションにより知識の定着を図る
達成目標	実務に見合った知識・技能を習得する
教科書	各テキスト
特記	
授業計画	1 色彩学 第1章 色彩と文化 (四季の色、日本の色の歴史) 2 色彩学 // 3 色彩学 (色と生活、色の種類) 4 色彩学 // 5 色彩学 第2章 色彩理論 (色の仕組み、CUS表色系、色の三属性と対比現象) 6 色彩学 // 7 色彩学 (色の感情効果、配色効果) 8 色彩学 配色練習 9 色彩学 第3章 色彩とファッション (ファッション概論、ブライダルと色彩) 10 色彩学 // 11 色彩学 配色練習 12 色彩学 第4章 パーソナルカラー 13 色彩学 配色練習 14 色彩学 直前模擬テスト 15 色彩学 直前模擬テスト 16 ビジネス基礎 漢字検定3級漢字の訓読み 17 ビジネス基礎 // 送り仮名 18 ビジネス基礎 // 熟語 19 ビジネス基礎 // 誤字 20 ビジネス基礎 // 訂正 21 ビジネス基礎 // 同音異義 22 ビジネス基礎 // 異字同訓 23 ビジネス基礎 漢字検定3級項目別復習 24 ビジネス基礎 漢字検定3級答練 25 ビジネス基礎 漢字検定3級模擬テスト 26 ビジネス基礎 サービススタッフの資質 (必要とされる要件、従業要件) 27 ビジネス基礎 // 28 ビジネス基礎 // 29 ビジネス基礎 専門知識 (サービス知識、従業知識) 30 ビジネス基礎 // 31 ビジネス基礎 // 32 ビジネス基礎 社会常識 33 ビジネス基礎 // 34 ビジネス基礎 // 35 ビジネス基礎 対人技能 (人間関係、接遇知識) 36 ビジネス基礎 // 37 ビジネス基礎 対人技能 (話し方、服装) 38 ビジネス基礎 // 39 ビジネス基礎 // 40 ビジネス基礎 3級模擬テスト 41 コンピュータ実務 Word文書作成と管理 42 コンピュータ実務 一般的的なビジネス文章① 43 コンピュータ実務 一般的的なビジネス文章② 44 コンピュータ実務 シンプルなレポートや報告書の作成① 45 コンピュータ実務 シンプルなレポートや報告書の作成② 46 コンピュータ実務 表、画像、図形を使った文章の作成① 47 コンピュータ実務 表、画像、図形を使った文章の作成② 48 コンピュータ実務 Excel表の作成、基本操作 49 コンピュータ実務 数式、関数を活用した集計表の作成①

50	コンピュータ実務	数式、関数を活用した集計表の作成②
51	コンピュータ実務	ワークシートの集計
52	コンピュータ実務	グラフの作成と編集
53	コンピュータ実務	データベース機能の利用
54	コンピュータ実務	Word Excelのまとめ
55		まとめ
56	就職実務	自己分析
57	就職実務	自己分析
58	就職実務	自己分析
59	就職実務	企業研究（サロン実習先）
60	就職実務	企業研究（サロン実習先）
61	就職実務	サロン実習事前準備（自己紹介表作成）
62	就職実務	サロン実習事前準備（自己紹介表作成）
63	就職実務	サロン実習事前準備（企業研究、自己紹介表作成）
64	就職実務	就職の心構え、就職スケジュール、サロン実習スケジュール
65	就職実務	サロン実習事前準備（企業研究、自己紹介表作成）
66	就職実務	サロン実習事前準備（訪問準備） 定期試験1（サロン実習日報）
67	就職実務	求人票の見方、福利厚生、給料の仕組み、企業選びのポイント
68	就職実務	サロン実習事前準備（企業研究、自己紹介表作成）
69	就職実務	サロン実習事前準備（自己紹介表作成）
70	就職実務	サロン実習事前準備（訪問準備） 定期試験2（サロン実習日報）
71	就職実務	自己分析、別紙資格一覧作成
72	就職実務	自己分析、別紙資格一覧作成
73	就職実務	履歴書作成
74	就職実務	履歴書作成
75	就職実務	スーツセミナー、メイクセミナー
成績評価方法 (試験実施方法)	項目別試験及び、定期試験の平均で評価する	
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	関係法規・制度 I
実務家教員授業	
学部・学科	美容科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	法制度の概要から我が国の衛生行政について学ぶとともに、美容師法の要求する美容師・美容所についての規定を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 法制度の概要（社会人における法の役割）</li> <li>2 法制度の概要（法の形式、衛生法規の概要）</li> <li>3 法制度の概要（理容師・美容師と付属法令、衛生行政の意義と歴史）</li> <li>4 衛生行政の概要（衛生行政の分類と生活衛生行政の内容、衛生行政を担う行政機関）</li> <li>5 美容師法（目的、用語の定義）</li> <li>6 美容師法（人（理容師・美容師）に関する規定）</li> <li>7 美容師法（人（理容師・美容師）に関する規定）</li> <li>8 美容師法（人（理容師・美容師）に関する規定）</li> <li>9 美容師法（人（理容師・美容師）に関する規定）</li> <li>10 確認テスト1・解答・解説</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内テスト及び、定期試験の平均で評価する
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	衛生管理 I
実務家教員授業	
学部・学科	美容科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	50時間
授業コマ数	25コマ
授業概要	美容業務において、人の健康に関わる事が多いため、プロとして求められる衛生管理の知識、技術を身につけるようにする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 公衆衛生の意義と課題、公衆衛生発展の歴史（欧米の公衆衛生の歩み、我が国の公衆衛生の歩み）</li> <li>2 公衆衛生発展の歴史（消毒法の歴史）、理容師・美容師と公衆衛生、保健所と理容業・美容業</li> <li>3 保健（母子保健）</li> <li>4 保健（成人・高齢者保健：我が国における死亡率の低下、平均寿命の延び、生活習慣病とその対策）</li> <li>5 保健（成人・高齢者保健：健康増進対策、がん、心臓病、脳卒中）</li> <li>6 保健（成人・高齢者保健：糖尿病、喫煙、アルコール、身体活動・運動、高齢者の保健と福祉）</li> <li>7 保健（精神保健）</li> <li>8 確認テスト1、解答・解説</li> <li>9 環境衛生の概要（環境衛生の内容、環境衛生の目的と意義、環境衛生活動）</li> <li>10 空気環境（空気と健康、温度、湿度、気流（風）と健康）</li> <li>11 衣服・住居の衛生（衣服の衛生、住居の衛生）</li> <li>12 上・下水道と廃棄物（上水道、下水道、廃棄物）</li> <li>13 衛生害虫、ネズミ</li> <li>14 環境保全</li> <li>15 確認テスト2、解答・解説</li> <li>16 人と感染症（感染症発見の歴史、感染症と法律）</li> <li>17 人と感染症（感染症の分類）</li> <li>18 病原微生物（微生物の種類、微生物の形と大きさ、微生物の構造、微生物の増殖と環境の影響）</li> <li>19 感染症の予防（微生物の病原体と人体の感受性、汚染、感染及び発病）</li> <li>20 感染症の予防（常在細菌叢、免疫と予防接種、感染症発生の要因）</li> <li>21 感染症の予防（感染症予防の3原則）、理容・美容と感染症、主な感染症（空気・飛沫を介して感染する感染症：結核）</li> <li>22 主な感染症（空気・飛沫を介して感染する感染症：ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARS）と中東呼吸器症候群（MERS）、鳥インフルエンザ）</li> <li>23 主な感染症（空気・飛沫を介して感染する感染症：インフルエンザ、新型インフルエンザ）</li> <li>24 主な感染症（空気・飛沫を介して感染する感染症：麻しん、百日せき、風しん）</li> <li>25 感染症まとめ</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内テスト及び、定期試験の平均で評価する
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	保健 I
実務家教員授業	
学部・学科	美容科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	50時間
授業コマ数	25コマ
授業概要	美容師として必要な基礎的な人体の構造、皮膚科学について学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 人体各部の名称、頭部、顔部、頸部の体表解剖学（眼とその周辺）</li> <li>2 頭部、顔部、頸部の体表細胞学（耳とその周辺、鼻とその周辺、口とその周辺、プロポーション）</li> <li>3 骨の種類と構造、骨の連結、骨格器系とそのはたらき</li> <li>4 筋の種類とその特徴、主な骨格筋とそのはたらき</li> <li>5 表情筋と表情運動、理容・美容の作業と筋疲労</li> <li>6 神経系の成り立ち、中枢神経系とそのはたらき、末梢神経系とそのはたらき</li> <li>7 確認テスト1、解答・解説</li> <li>8 視覚、聴覚</li> <li>9 平衡感覚、味覚</li> <li>10 嗅覚、皮膚感覚</li> <li>11 血液のあらまし、血液循環の仕組み</li> <li>12 血液の循環経路、心臓と血管のはたらき、リンパ管系の仕組みとはたらき</li> <li>13 呼吸器系のあらまし、気道、肺の仕組みとガス交換</li> <li>14 呼吸運動、消化器系のあらまし、消化管の仕組み（口腔、唾液腺）</li> <li>15 消化管の仕組み（食道、胃、腸）、消化管のはたらき、消化と物質代謝</li> <li>16 確認テスト2、解答・解説</li> <li>17 皮膚の表面、皮膚の断面、表皮</li> <li>18 表皮と真皮の境、真皮、皮下組織、皮膚の部位差</li> <li>19 毛（毛の構造、毛の形と毛の成長周期、毛の型の変化）</li> <li>20 毛（毛の成長、毛の性状、立毛筋）</li> <li>21 脂腺、汗腺、爪</li> <li>22 皮膚の血管、皮膚のリンパ管、皮膚の神経</li> <li>23 体外保護作用、体温調節作用</li> <li>24 知覚神経と皮膚反射、分泌排泄作用、呼吸作用、吸収作用、貯蔵作用</li> <li>25 免疫・解毒・排除作用、再生作用、毛のはたらき、爪のはたらき</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	<p>確認テスト50% 4択20題と○×10題の基本・応用的な知識を測定するテスト</p> <p>授業内テスト25% 講義後の小テストの解答状況</p> <p>平常点25% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度</p>
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	化粧品化学 I	
実務家教員授業		
学部・学科	美容科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	40時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	化粧品に用いられる原料の化学的性質や配合目的などについて学び、安全性及び使用目的について知識を深める	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る	
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする	
教科書	テキスト (教育センター発行)	
特記		
授業計画	1	混合物と純物質 水の化学式 (元素、元素記号) 原子量
	2	溶解 (極性分子、水) 水への溶解 (糖質と溶解度)
	3	コロイド溶液 (サスペンション、エマルジョン、エアロゾル) 酸と塩基
	4	中和反応と塩 PH 緩衝作用と緩衝液
	5	酸化・還元 炭水化物とタンパク質
	6	化学分野の復習
	7	確認テスト1・解答・解説
	8	化粧品の規制 (薬事法、化粧品・医薬部外品の違い) 表示・広告の規制
	9	化粧品原料 人体各部の性状 (皮膚、毛髪、爪、まぶた、口唇)
	10	水性原料 油性原料 (油脂、不乾性油)
	11	ロウ類 炭化水素 高級脂肪酸
	12	界面活性剤 (乳化、可溶化、分散、種類)
	13	高分子化合物 (天然、半合成、合成、PVA、PVP)
	14	色材 (無機顔料、有機顔料、光輝性顔料、天然色素)
	15	香料 (天然香料、合成香料、調合香料)
	16	その他の配合成分 (防腐剤、酸化防止剤、保湿剤、紫外線吸収剤、収れん剤)
	17	高分子化合物 (合成樹脂) 石けん 化粧品
	18	クリーム 乳液
	19	まとめ・復習
	20	確認テスト2・解答・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	項目別試験及び、定期試験の平均で評価する	
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	文化論 I
実務家教員授業	
学部・学科	美容科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	古代から現代までの美容の歴史を振り返り、日本の基本的伝統文化の知識を習得する。また、これからの美容のあり方を考察する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 理容美容の語義、理容美容と現代社会</li> <li>2 理容業・美容業の発生、江戸時代の理容業・美容業 前編</li> <li>3 " 後編</li> <li>4 近代の理容業、美容業</li> <li>5 現代の理容業、美容業</li> <li>6 縄文・弥生・古墳時代、古代（飛鳥・奈良・平安時代）</li> <li>7 中世（平安末・鎌倉・室町・戦国時代）、近世Ⅰ（戦国末・安土桃山時代）</li> <li>8 近世Ⅱ（江戸時代）</li> <li>9 近代（明治・大正・昭和20年まで）</li> <li>10 現代Ⅰ（1945年～1950年代）、現代Ⅱ（1960年～1970年代）</li> <li>11 現代Ⅲ（1980年～1990年代）、現代Ⅳ（2000年代以降）</li> <li>12 確認テスト1・解答・解説</li> <li>13 古代エジプト、古代ギリシャ・ローマ</li> <li>14 古代ゲルマン、中世ヨーロッパ</li> <li>15 近世Ⅰ（16世紀）、近世Ⅱ（17世紀）</li> <li>16 近世Ⅲ（18世紀）、近代Ⅰ（18世紀末～19世紀初め）</li> <li>17 近代Ⅱ（19世紀）、現代Ⅰ（1910年代～1920年代）</li> <li>18 現代Ⅱ（1930年代～1940年代前半）、現代Ⅲ（1940年代後半～1950年代）</li> <li>19 ファッション文化史（西洋編）まとめ</li> <li>20 確認テスト2・解答・解説</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	<p>確認テスト50% 4択20題と○×10題の基本・応用的な知識を測定するテスト</p> <p>授業内テスト25% 講義後の小テストの解答状況</p> <p>平常点25% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度</p>
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	美容技術理論 I
実務家教員授業	○
学部・学科	美容科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義・演習・実習
授業時間	90時間
授業コマ数	45コマ
授業概要	実務経験のある講師が、基礎的理論を基に技術に理論的根拠をあたえ、技術の習得を容易にする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習、実習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 美容理論と美容技術、美容技術における作業姿勢、美容技術に必要な人体各部の名称</li> <li>2 美容技術における道具、コーム、ブラシ</li> <li>3 シザーズ、レザー</li> <li>4 ピン類、ヘアクリップ、ローラー、ヘアアイロン、ヘアドライヤー、ヘアスチーマー、遠赤外線機</li> <li>5 シャンプーイング総論（シャンプーイングの目的、施術の内容によるシャンプーイングの目的の違い、シャンプーイングのメカニズム、シャンプー剤の成分、シャンプー剤の種類）</li> <li>6 シャンプーイング総論（シャンプーイングの際の注意、シャンプー技術のプロセス、ブラッシング）、サイドシャンプー、バックシャンプー</li> <li>7 リンス・コンディショナー・トリートメント（リンス・コンディショナー・トリートメントの役割、リンス・コンディショナー・トリートメントの違い）</li> <li>8 リンス・コンディショナー・トリートメント（リンス・コンディショナー・トリートメント剤の成分、リンスの目的）</li> <li>9 リンス・コンディショナー・トリートメント（リンス剤の種類、リンス技術、コンディショナーの目的、ヘアトリートメントの目的）</li> <li>10 リンス・コンディショナー・トリートメント（ヘアトリートメント剤の種類、ヘアトリートメント技術の一例）</li> <li>11 スカルプトリートメント（スカルプトリートメントの目的、スカルプトリートメントの要素、スカルプトリートメントの種類）</li> <li>12 スカルプトリートメント（頭皮トラブルのいろいろ、育毛剤の成分とはたらき、ノーマルスカルプトリートメント技術の一例、スカルプトリートメント技術の目的と手順）</li> <li>13 スカルプトリートメント（スカルプマッサージの基本手技の一例）</li> <li>14 ヘッドスパ</li> <li>15 美容とデザイン（錯覚現象を美容に生かそう）</li> <li>16 美容とデザイン（デザインの要素）</li> <li>17 美容とデザイン（デザインの原理）</li> <li>18 序章～3章まとめ</li> <li>19 確認テスト1、解答・解説</li> <li>20 ヘアカッティングとは、シザーズとレザーの扱い方、美容刃物、ヘアカッティングの正しい姿勢、ブロッキング</li> <li>21 ヘアカッティングの基礎理論</li> <li>22 ベーシックなカット技法</li> <li>23 シザーズによるカット技法</li> <li>24 レザーによるカット技法</li> <li>25 パーマネントウェーブの歴史と現在、パーマネントウェーブの理論</li> <li>26 パーマの分類、パーマ剤に関する注意事項</li> <li>27 パーマネントウェーブ技術</li> <li>28 ワインディングのバリエーション、縮毛矯正</li> <li>29 パーマネントウェーブリング（実習：ウェーブ）</li> <li>30 パーマネントウェーブリング（実習：ウェーブ）</li> <li>31 パーマネントウェーブリング（実習：ストレート）</li> <li>32 パーマネントウェーブリング（実習：ストレート）</li> <li>33 ヘアセッティングとは、ヘアパーティング、ヘアシェーピング、ヘアカーリング（カール各部の名称、カールの分類）</li> <li>34 ヘアカーリング（ベースを作る～クロッキノールカール技術の一例）</li> <li>35 ヘアウェーブリング</li> <li>36 ローラーカーリング、ブロードライ、アイロンセッティング、バックコーミング、アップスタイル、ウィッグとヘアピース</li> <li>37 ヘアカラーリング概論、ヘアカラーの種類</li> <li>38 ヘアカラーのタイプ別特徴、染毛にメカニズム</li> <li>39 色の基本、毛髪レベルとアンダートーン</li> <li>40 パッチテスト、染毛剤使用時の注意事項、ヘアカラーリングの道具</li> <li>41 酸化染毛剤の技術手順、酸性染毛料の技術手順、ヘアブリーチ</li> <li>42 確認テスト2、解答・解説</li> <li>43 ヘアカラーリング（実習：カラー剤塗布練習）</li> <li>44 ヘアカラーリング（実習：ブリーチ）</li> <li>45 技術論 I まとめ</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内テスト及び、定期試験の平均で評価する
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	運営管理 I
実務家教員授業	
学部・学科	美容科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	サービス業としてお客様の求める価値を考え、提供し満足していただける接客、経営戦略を学ぶ。社会人として健全に働くために、労務管理、健康管理の重要性を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 経営が必要とされる理由～経営戦略が目指すもの 顧客に選ばれるよい店の実現</li> <li>2 業界の概要～理容業・美容業の顧客について</li> <li>3 資金管理の重要性～税金について</li> <li>4 人という資源とは～労働者の権利</li> <li>5 健康管理の基礎～理容・美容の作業環境に関する健康問題</li> <li>6 社会人としての責任・理容業・美容業の従業員としての責任</li> <li>7 確認テスト1・解答・解説</li> <li>8 顧客が求める価値～サービスの範囲</li> <li>9 理容業・美容業のマーケティング～サービスのシステム化</li> <li>10 接客についての理解～接客の実践③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内テスト及び、定期試験の平均で評価する
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	美容実習 I			
実務家教員授業	○			
学部・学科	美容科			
履修年次	1年次			
開講学期	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習・実習			
授業時間	390時間			
授業コマ数	195コマ			
授業概要	実務経験のある講師が、美容基礎技術を基に技術の習得を容易にする			
授業の進め方	テキストによる講義と、実習により技術を習得する			
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする			
教科書	テキスト（教育センター発行）			
特記				
授業計画	1	ワインディング（道具の使い方、セッティング）	53	ワインディング（左バックサイド～ネイプの確認）
	2	ワインディング（プレーンリンス、コームの使い方）	54	”
	3	ワインディング（ブロッキング・センターの取り方）	55	ワインディング（フロントの入れ方確認）
	4	ワインディング（ブロッキング・サイドの取り方）	56	”
	5	ワインディング（ブロッキングの確認）	57	ワインディング（右バックサイド～ネイプの入れ方確認）
	6	”	58	”
	7	ワインディング（上巻きの巻き方）	59	ワインディング（左バックサイド～ネイプの入れ方確認）
	8	”	60	”
	9	ワインディング（上巻きの確認）	61	ワインディング（全頭タイム計測）
	10	”	62	”
	11	ワインディング（下巻きの巻き方）	63	”
	12	”	64	”
	13	ワインディング（下巻きの確認）	65	”
	14	”	～	ワインディング（全頭タイム計測35分）
	15	ブロッキングのタイム計測 上巻き、下巻きの確認	70	”
	16	”	71	”
	17	ワインディング（ステムの確認、ステムのテンション、ロッドの配置）	～	ワインディング綺麗巻き
	18	”	78	”
	19	ワインディング（頭の丸みに合わせたステム角度、ゴムのよじれ）	79	”
	20	”	～	ワインディング（全頭タイム計測30分）
	21	ワインディング（シェイプの基本）	98	”
	22	”	99	”
	23	ワインディング（上巻きと下巻きの繋ぎ方）	～	ワインディング（全頭タイム計測25分）
	24	”	118	”
	25	ワインディング（センターの巻き方）	119	”
	26	”	～	ワインディング（全頭タイム計測20分）
	27	”	138	”
	28	”	139	”
	29	ブロッキングタイム計測	～	学内コンテスト準備（ワインディング タイム計測）
	30	”	148	”
	31	センタータイム計測	149	学内コンテストリハーサル（ワインディング）
	32	”	150	”
	33	”	151	学内コンテスト（ワインディング 20分ブロッキング別）
	34	”	152	”
35	ワインディング（右フロント～バックサイドの巻き方）	153	”	
36	”	154	オールウェーブウィッグ作成（カット、セニング）	
37	ワインディング（右フロント～バックサイドの確認）	155	”	
38	”	156	オールウェーブ（道具の使い方、セッティング）	
39	ワインディング（右バックサイド～ネイプの巻き方）	157	オールウェーブ（ローション塗布）	
40	”	158	オールウェーブ（コームの持ち方、シェープの仕方）	
41	ワインディング（右バックサイド～ネイプの確認）	159	オールウェーブ（シェープの仕方）	
42	”	160	オールウェーブ（Cカールの作り方）	
43	センター綺麗巻き	161	”	
44	”	162	オールウェーブ（Cカールの作り方2段）	
45	”	163	”	
46	”	164	オールウェーブ（Cカールの作り方4段）	
47	ワインディング（左フロント～バックサイドの巻き方）	165	”	
48	”	166	Cカール4段確認	
49	ワインディング（左フロント～バックサイドの確認）	167	”	
50	”	168	”	
51	ワインディング（左バックサイド～ネイプの巻き方）	～	サロン実務実習（環境理解、衛生意識行動、美容技術習得）	
52	”	195	”	
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定の平均で評価する			
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。			

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容				
授業科目	職業実践 I				
実務家教員授業	○				
学部・学科	美容科				
履修年次	1年次				
開講学期	後期				
科目区分	選択必修				
授業方法	演習・実習				
授業時間	150時間				
授業コマ数	75コマ				
授業概要	各実習、演習を通じ実社会での即戦力としての知識と実践力を習得する				
授業の進め方	各種実習を通じて、基本知識の習得や技能の定着を図る				
達成目標	実務に見合った知識・技能を習得する				
教科書	なし				
特記					
授業計画	1	サイドシャンパー (クロスの付け方、ブラッシング)	39	メイク	"
	2	サイドシャンパー (ウェット手順、ヘアドライ)	40	メイク	実技 (ポイントメイク)
	3	サイドシャンパー (1シャンパー手順説明)	41	メイク	"
	4	"	42	メイク	実技 (ポイントメイク、アイブロウ)
	5	サイドシャンパー 1シャンパー 相モデル	43	メイク	"
	6	"	44	メイク	実技 (ポイントメイク、アイブロウ～アイシャドウ)
	7	"	45	メイク	"
	8	"	46	メイク	メイク理論 (ベースメイクの目的)
	9	サイドシャンパー (2シャンパー、スキャルプマッサージ手順説明)	47	メイク	"
	10	"	48	メイク	メイク理論テスト 解答・解説
	11	サイドシャンパー 2シャンパー 相モデル	49	メイク	実技 テスト前演習
	12	"	50	メイク	実技メイクテスト
	13	"	51	カット	(シザーの使い方、コームの使い方)
	14	"	52	ワンレングスカット	(ワンレングスとは、カット手順説明)
	15	サイドシャンパーテスト	53	ワンレングスカット	(ネイブ、バックトップの切り方)
	16	ヘッドスパ手順説明	54	ワンレングスカット	(サイドの切り方)
	17	"	55	グラデーションカット	(グラデーションとは、カット手順説明)
	18	ヘッドスパ 相モデル	56	グラデーションカット	(ガイドの切り方)
	19	"	57	グラデーションカット	(ネイブ～ミドルの切り方)
	20	"	58	グラデーションカット	(サイド～トップの切り方)
	21	ヘアデザイン 道具の使い方、一束、ピン留め	59	グラデーションカット2	(ブロッキング、ネイブの切り方)
	22	ヘアデザイン スタイリング剤、夜会巻き	60	グラデーションカット2	(エレベーション&ダイレクション)
	23	ヘアデザイン アレンジ	61	グラデーションカット3	(ブロッキング、アウトライン)
	24	ヘアデザイン 新日本髪	62	グラデーションカット3	(エレベーション&ダイレクション)
	25	ヘアデザイン 新日本髪テスト	63	ブロー	(デンマンブラシの使い方)
	26	メイク メイク理論 (メイクとは)	64	ブロー	(ロールブラシの使い方)
	27	メイク メイク理論 (パーツの名称、美しい肌の条件)	65	パーマ	(パーパスの巻き方)
	28	メイク メイク理論 (肌トラブルと原因、筋肉)	66	パーマ	(薬剤の付け方)
	29	メイク 実技 (クレンジング)	67	ブリーチ	(道具の使い方、ウィービング)
	30	メイク メイク理論 (クレンジングの目的、種類)	68	ブリーチ	(ウィービング実践)
	31	メイク 実技 (クレンジング～乳液)	69	ブリーチ	(全頭)
	32	メイク	70	"	"
	33	メイク 実技 (スキンケアの目的、皮膚の色)	71	ウィッグ制作	(ブリーチ)
	34	メイク 実技 (化粧水～ファンデーション)	72	"	"
	35	メイク	73	ウィッグ制作	(カラーリング)
	36	メイク 実技 (化粧水～ファンデーション、ハイライト、ローライト、チーク)	74	"	"
	37	メイク	75	ウィッグ制作	(スタイリング)
	38	メイク 実技 (ファンデーション～アイブロウ)			
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の平均で評価する				
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。				

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	美容キャリアデザインⅡ	
実務家教員授業		
学部・学科	美容科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	各講義、演習を通じ実社会での即戦力としての知識と実践力を習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習及びディスカッションにより知識の定着を図る	
達成目標	実務に見合った知識・技能を習得する	
教科書	各テキスト	
特記		
授業計画	1	就職実務 サロン実習(振り返り)
	2	就職実務 企業研究
	3	就職実務 志望動機
	4	就職実務 面接練習(面接試験における質問研究)
	5	就職実務 面接練習(挨拶・お辞儀・入退室確認)
	6	就職実務 面接力トレーニング(自己PR・志望動機・面接演習質問)
	7	就職実務 職場のマナー(学校と職場の違い、職場マナー)
	8	就職実務 職場のマナー(仕事の進め方、「ほう・れん・そう」とは)
	9	就職実務 挨拶と敬語(挨拶の種類、笑顔・お辞儀、正しい敬語の使い方)
	10	就職実務 挨拶と敬語(応対の基本)
	11	就職実務 電話応対STEP1(電話応対のマナー、電話の受け方)
	12	就職実務 電話応対STEP1(電話のかけ方)
	13	就職実務 接客マナー(接客応対のプロとして、店内接客の基本)
	14	就職実務 クレーム応対(クレームとは、クレーム応対方法、電話でのクレーム応対、店内でのクレーム応対)
	15	就職実務 社会人マナー(郵便の知識とFAX送信状、冠婚葬祭のマナー)
	16	就職実務 社会人マナー(贈答のマナー、会食のマナー)
	17	就職実務 社会人マナー(職場でのNG)
	18	就職実務 電話応対STEP2(状況別の電話応対)
	19	就職実務 電話応対STEP2(状況別の電話応対)
	20	就職実務 模擬テスト
	21	応用理論 関係法規 復習
	22	応用理論 関係法規 復習
	23	応用理論 関係法規 確認テスト
	24	応用理論 公衆衛生・環境衛生 復習
	25	応用理論 公衆衛生・環境衛生 復習
	26	応用理論 公衆衛生・環境衛生 確認テスト
	27	応用理論 感染症 復習
	28	応用理論 感染症 復習
	29	応用理論 感染症 確認テスト
	30	応用理論 衛生管理技術 復習
	31	応用理論 衛生管理技術 復習
	32	応用理論 衛生管理技術 確認テスト
	33	応用理論 人体の構造及び機能 復習
	34	応用理論 人体の構造及び機能 復習
	35	応用理論 人体の構造及び機能 確認テスト
	36	応用理論 皮膚科学 復習
	37	応用理論 皮膚科学 復習
	38	応用理論 皮膚科学 確認テスト
	39	応用理論 化粧品化学 復習
	40	応用理論 化粧品化学 復習
	41	応用理論 化粧品化学 確認テスト
	42	応用理論 美容技術論 復習
	43	応用理論 美容技術論 復習
	44	応用理論 美容技術論 確認テスト
	45	応用理論 模擬テスト
	46	応用理論 美容師筆記試験 過去問題と解答解説
	47	応用理論 //
	48	応用理論 //
	49	応用理論 //

	50	応用理論	〃
	51	応用理論	〃
	52	応用理論	〃
	53	応用理論	〃
	54	応用理論	〃
	55	応用理論	〃
	56	応用理論	〃
	57	応用理論	〃
	58	応用理論	〃
	59	応用理論	〃
	60	応用理論	〃
成績評価方法 (試験実施方法)	項目別試験及び、定期試験の平均で評価する		
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	関係法規・制度Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	美容科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	10時間
授業コマ数	5コマ
授業概要	法制度の概要から我が国の衛生行政について学ぶとともに、美容師法の要求する美容師・美容所についての規定を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 美容師法（施設（理容師・美容師）に関する規定</li> <li>2 美容師法（施設（理容師・美容師）に関する規定</li> <li>3 美容師法（立入検査と衛生監視員、違反者等に対する行政処分、罰則）</li> <li>4 関連法規</li> <li>5 関係法規テスト・解答・解説</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内テスト及び、定期試験の平均で評価する
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	衛生管理Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	美容科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	美容業務において、人の健康に関わる事が多いため、プロとして求められる衛生管理の知識、技術を身につけるようにする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 麻しん、百日せき、風しん</li> <li>2 細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、A型肝炎</li> <li>3 B型肝炎、C型肝炎、エイズ、梅毒</li> <li>4 ラッサ熱、ペスト、デング熱、具体的な対策例</li> <li>5 確認テスト3・解答・解説</li> <li>6 消毒とは、消毒の意義</li> <li>7 消毒に関連のある法の規定</li> <li>8 消毒法の種類、消毒に必要な条件、病原微生物の抵抗力、消毒薬の使用、保存の注意</li> <li>9 紫外線消毒、煮沸消毒、蒸気消毒</li> <li>10 アルコール消毒、次亜塩素酸ナトリウム消毒、界面活性剤消毒、グルコン酸クロルヘキシジン消毒</li> <li>11 すぐれた消毒法と実施上の注意、希釈倍数</li> <li>12 器具類の消毒法</li> <li>13 美容所の清潔法の実際</li> <li>14 衛生管理の実践例 目的、施設及び設備、管理</li> <li>15 衛生的扱い等、消毒～自主的管理体制、美容所の自主管理点検表</li> <li>16 確認テスト4・解答・解説</li> <li>17 公衆衛生、環境衛生 復習</li> <li>18 感染症 復習</li> <li>19 衛生管理技術 復習</li> <li>20 衛生管理テスト・解答・解説</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内テスト及び、定期試験の平均で評価する
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	保健Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	美容科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	美容師として必要な基礎的な人体の構造、皮膚科学について学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 皮膚と全身状態～皮膚と体内病変</li> <li>2 皮膚の水分と脂の状態～皮膚・付属機関とホルモン</li> <li>3 皮膚の保護と手入れ～子どものおしゃれによる皮膚トラブル</li> <li>4 皮膚の異常とその種類～皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹（カブレ前半）</li> <li>5 皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹（カブレ後半～湿疹患者のケア）</li> <li>6 分泌異常のによる皮膚疾患～ウイルスによる皮膚疾患</li> <li>7 真菌による皮膚疾患～感染症の皮膚疾患の予防</li> <li>8 毛と爪の疾患、皮膚の腫瘍</li> <li>9 確認テスト4・解答・解説</li> <li>10 皮膚科学 復習</li> <li>11 皮膚科学 テスト、解説</li> <li>12 人体 人体の構造、骨格器系 復習</li> <li>13 人体 筋系、神経系 復習</li> <li>14 人体 感覚器系、血液・循環器系 復習</li> <li>15 人体 呼吸器系、消化器系 復習</li> <li>16 皮膚科学 皮膚の構造、皮膚付属器官の構造 復習</li> <li>17 皮膚科学 皮膚の循環器系と神経系、皮膚と皮膚付属器官の生理機能 復習</li> <li>18 皮膚科学 皮膚と皮膚付属器官の保健 復習</li> <li>19 皮膚科学 皮膚と皮膚付属器官の疾患 復習</li> <li>20 保健テスト・解答・解説</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト50% 4択20題と○×10題の基本・応用的な知識を測定するテスト 授業内テスト25% 講義後の小テストの解答状況 平常点25% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	化粧品化学Ⅱ	
実務家教員授業		
学部・学科	美容科	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	化粧品に用いられる原料の化学的性質や配合目的などについて学び、安全性及び使用目的について知識を深める	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る	
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする	
教科書	テキスト（教育センター発行）	
特記		
	1	シャンプー リンス スタイリング剤
	2	パーマ剤（第1剤と第2剤の違い） 一時染毛剤
	3	永久染毛剤
	4	育毛剤
	5	芳香製品（香水、オーデコロン） サンケア製品（サンスクリーン製品、サンタン製品）
	6	まとめ・復習
	7	化粧品テスト・解答・解説
	8	国家試験対策（過去問）
	9	”
	10	”
成績評価方法 (試験実施方法)	項目別試験及び、定期試験の平均で評価する	
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	文化論Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	美容科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	古代から現代までの美容の歴史を振り返り、日本の基本的伝統文化の知識を習得する。また、これからの美容のあり方を考察する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現代Ⅳ（1960年代）、現代Ⅴ（1970年代）</li> <li>2 現代Ⅳ（1980年代）、現代Ⅶ（1990年代～2010年）</li> <li>3 ファッション文化史（西洋編）まとめ</li> <li>4 和装の礼装</li> <li>5 洋装の礼装</li> <li>6 第1章（総論）、第2章（第1節～第4節）復習</li> <li>7 第3章（第1節～第10節）復習</li> <li>8 第4章（第1節～第17節）復習</li> <li>9 第5章（礼装の種類）復習</li> <li>10 確認テスト3・解答・解説</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト50% 4択20題と○×10題の基本・応用的な知識を測定するテスト 授業内テスト25% 講義後の小テストの解答状況 平常点25% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	美容技術理論Ⅱ
実務家教員授業	○
学部・学科	美容科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義・演習・実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	実務経験のある講師が、基礎的理論を基に技術に理論的根拠をあたえ、技術の習得を容易にする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習、実習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 エステティック概論、皮膚の生理と構造、カウンセリング</li> <li>2 美容におけるマッサージ理論、フェイシャルケア技術</li> <li>3 フェイシャル及びデコルテマッサージ、フェイシャルパック、ボディケア技術、ボディマッサージ</li> <li>4 ネイル技術概論、ネイル技術の種類、爪の構造と機能、爪のカットの形状</li> <li>5 ネイル技術と公衆衛生、カウンセリング、ネイルケア</li> <li>6 アーティフィシャルネイル、手と足のマッサージ</li> <li>7 着付けの理論と技術（実習：浴衣着付け）</li> <li>8 メイクアップ概論、顔の形態学的な観察</li> <li>9 メイクアップと色彩、皮膚の生理と構造、メイクアップの道具</li> <li>10 スキンケア、ベースメイクアップ</li> <li>11 アイメイクアップ、アイブロウメイクアップ</li> <li>12 リップメイクアップ、ブラッシュオンメイクアップ</li> <li>13 まつ毛エクステンション</li> <li>14 メイクアップ（実習：まつ毛エクステンション）</li> <li>15 8～10章まとめ</li> <li>16 確認テスト3、解答・解説</li> <li>17 日本髪由来、日本髪各部の名称、日本髪の種類と特徴、日本髪と調和</li> <li>18 日本髪装飾品、日本髪結髪道具、日本髪結髪技術、日本髪の手入れ、かつら</li> <li>19 着付けの目的、礼装、着物と季節、着物のいろいろ、帯、小物</li> <li>20 着物各部の名称、着物のたたみ方、着付けの一般的要領、留袖着付け技術、振袖着付け技術</li> <li>21 帯締め、帯揚げの結び方、男子礼装羽織、袴着付け技術、羽織のひもの結び方、女子袴着付け技術、婚礼着付けの再の注意事項、和装花嫁、洋装花嫁</li> <li>22 11～12章まとめ</li> <li>23 確認テスト4、解答・解説</li> <li>24 序～1章 復習まとめ</li> <li>25 2章 復習まとめ</li> <li>26 3～4章 復習まとめ</li> <li>27 5章 復習まとめ</li> <li>28 6章 復習まとめ</li> <li>29 7章 復習まとめ</li> <li>30 技術論 総まとめ</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	項目別試験及び、定期試験の平均で評価する
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	運営管理Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	美容科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	10時間
授業コマ数	5コマ
授業概要	サービス業としてお客様の求める価値を考え、提供し満足していただける接客、経営戦略を学ぶ。社会人として健全に働くために、労務管理、健康管理の重要性を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	「実務経験のある教員による授業科目」に対応 1 接客の実践④～問題を深刻化させないための対策・対処 2 確認テスト・解答・解説 3 経営者の視点、人という資源 復習 4 顧客のために 復習 5 運営管理テスト・解答・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト50% 4択20題と○×10題の基本・応用的な知識を測定するテスト 授業内テスト25% 講義後の小テストの解答状況 平常点25% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	美容実習Ⅱ			
実務家教員授業	○			
学部・学科	美容科			
履修年次	2年次			
開講学期	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習・実習			
授業時間	510時間			
授業コマ数	255コマ			
授業概要	実務経験のある講師が、美容基礎技術を基に技術の習得を容易にする			
授業の進め方	テキストによる講義と、実習により技術を習得する			
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする			
教科書	テキスト(教育センター発行)			
特記				
授業計画	1	オールウェーブ(Cカール4段)	65	オールウェーブ(1~3段確認)
	2	"	66	"
	3	オールウェーブ(Cカール確認)	67	オールウェーブ(4~7段確認)
	4	"	68	"
	5	オールウェーブ(リッジの作り方)	69	オールウェーブ(全頭確認)
	6	"	70	"
	7	オールウェーブ(リッジの作り方確認)	71	"
	8	"	72	"
	9	オールウェーブ(リッジ2段の作り方)	73	オールウェーブ(全頭タイム計測)
	10	"	74	"
	11	オールウェーブ(リッジ2段の作り方確認)	75	"
	12	"	76	"
	13	オールウェーブ(リッジ4段の作り方)	77	"
	14	"	78	"
	15	オールウェーブ(リッジ4段の作り方確認)	79	学外コンテスト準備(ワインディングタイム計測)
	16	"	~	
	17	リッジ4段確認	98	
	18	"	99	学生技術選手権準備(ワインディングタイム計測)
	19	オールウェーブ(1段目のシェープの手順)	~	
	20	オールウェーブ(スカルプチュアカールの作り方)	118	
	21	オールウェーブ(1段目のシェープの確認)	119	カット(道具の使い方、セッティング)
	22	オールウェーブ(スカルプチュアカールの作り方)	120	カット(ブロッキングの取り方)
	23	オールウェーブ(1段目の確認)	121	カット(ポイントの長さの切り方)
	24	"	122	カット(フロントの切り方)
	25	オールウェーブ(2段目のシェープの手順)	123	カット(アウトラインの切り方)
	26	オールウェーブ(2段目リッジの作り方)	124	カット(ネイブの切り方)
	27	オールウェーブ(2段目のシェープの確認)	125	カット(バックミドルの切り方)
	28	オールウェーブ(2段目リッジの確認)	126	カット(右サイドの切り方)
	29	オールウェーブ(1~2段の確認)	127	カット(左サイドの切り方)
	30	"	128	カット(フロントの切り方)
	31	オールウェーブ(3段目のシェープの手順)	129	カット(もみあげの切り方)
	32	オールウェーブ(スカルプチュアカールの作り方)	130	カット(みつえりの切り方)
	33	オールウェーブ(3段目のシェープの確認)	131	カット(チェックカット)
	34	オールウェーブ(スカルプチュアカールの作り方)	132	カット(修正ポイント)
	35	オールウェーブ(3段目の確認)	133	カット(ブロッキング~フロント確認)
	36	"	134	"
	37	オールウェーブ(1~3段の確認)	135	カット(アウトライン~ネイブ確認)
	38	"	136	"
	39	1~3段目の確認	137	カット(バック~サイド確認)
	40	"	138	"
	41	オールウェーブ(4段目のシェープの手順)	139	カット(フロント~チェック)
	42	オールウェーブ(リフトカールの作り方)	140	"
	43	オールウェーブ(4段目のシェープの確認)	141	カット(全頭タイム計測)
	44	オールウェーブ(リフトカールの作り方)	~	
	45	オールウェーブ(4段目の確認)	148	
	46	"	149	学内コンテスト準備(カット及び第2課題)
	47	オールウェーブ(5段目のシェープの手順)	~	
	48	オールウェーブ(逆リフトカールの作り方)	158	
	49	オールウェーブ(5段目のシェープの確認)	159	学内コンテストリハーサル(カット及び第2課題)
	50	オールウェーブ(逆リフトカールの作り方)	160	"
	51	オールウェーブ(5段目の確認)	161	学内コンテスト(カット及び第2課題)
	52	"	162	"
	53	オールウェーブ(6段目のシェープの手順)	163	衛生技術の理解
	54	オールウェーブ(メイポールカールの作り方)	164	"
	55	オールウェーブ(6段目のシェープの確認)	165	技術マニュアルの確認
	56	オールウェーブ(メイポールカールの作り方)	166	"
	57	オールウェーブ(6段目の確認)	167	道具の清掃
	58	"	168	"

	59	オールウェーブ（7段目のシェープの手順）	169	国試対策
	60	オールウェーブ（クロッキノールカールの作り方）	～	
	61	オールウェーブ（7段目のシェープの確認）	227	サロン実務実習（環境理解、衛生意識行動、美容技術習得）
	62	オールウェーブ（クロッキノールカールの作り方）	228	
	63	オールウェーブ（7段目の確認）	～	
	64	”	255	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の平均で評価する			
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。			

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	職業実践Ⅱ			
実務家教員授業	○			
学部・学科	美容科			
履修年次	2年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択必修			
授業方法	演習・実習			
授業時間	180時間			
授業コマ数	90コマ			
授業概要	各実習、演習を通じ実社会での即戦力としての知識と実践力を習得する。			
授業の進め方	各種実習を通じて、基本知識の習得や技能の定着を図る。			
達成目標	実務に見合った知識・技能を習得する。			
教科書	なし			
特記				
授業計画	1	シャンプー バックシャンプー (サイドとバックの違い)	77	テクニカル エフェクトカット (チョップカット、ポインティング)
	2	シャンプー バックシャンプー (ウェット手順、ヘアドライ)	78	テクニカル "
	3	シャンプー バックシャンプー (1シャンプー手順説明)	79	テクニカル エフェクトカット (ストロークカット、スライドカット)
	4	シャンプー "	80	テクニカル "
	5	シャンプー バックシャンプー 1シャンプー 相モデル	81	テクニカル レザーカット (ワンレングス、グラデーション)
	6	シャンプー "	82	テクニカル "
	7	シャンプー "	83	テクニカル レザーカット (セニング)
	8	シャンプー "	84	テクニカル "
	9	シャンプー バックシャンプー (2シャンプー、スキャルブマッサージ手順説明)	85	テクニカル ヘアスタイル制作 (カウンセリング 相モデル)
	10	シャンプー "	86	テクニカル ヘアスタイル制作 (カット ブラント)
	11	シャンプー バックシャンプー 2シャンプー 相モデル	87	テクニカル ヘアスタイル制作 (セニング)
	12	シャンプー "	88	テクニカル ヘアスタイル制作 (カラーリング)
	13	シャンプー "	89	テクニカル ヘアスタイル制作 (スタイリング)
	14	シャンプー "	90	テクニカル ヘアスタイル制作 発表
	15	シャンプー バックシャンプーテスト		【選択授業】
	16	シャンプー ヘッドスパ手順説明	61	メイク オリエンテーション
	17	シャンプー "	62	メイク ポイントクレンジング
	18	シャンプー ヘッドスパ 相モデル	63	メイク クレンジング
	19	シャンプー "	64	メイク 化粧水
	20	シャンプー ヘッドスパテスト	65	メイク 乳液
	21	ヘアデザイン デザイン考案	66	メイク ベース
	22	ヘアデザイン デザイン考案・試作	67	メイク 手指消毒～ベース 手技通し
	23	ヘアデザイン ウィッグ制作 (カラー)	68	メイク "
	24	ヘアデザイン ウィッグ制作 (カラー)	69	メイク 手指消毒～ベース 相モデル
	25	ヘアデザイン ウィッグ制作 (カラー)	70	メイク "
	26	ヘアデザイン ウィッグ制作 (カラー)	71	メイク "
	27	ヘアデザイン ウィッグ制作 (カラー)	72	メイク 手指消毒～コントロール、コンシーラー、ファンデーション、ハイ・ロー・チーク
	28	ヘアデザイン ウィッグ制作 (カラー)	73	メイク 通しメイク 相モデル
	29	ヘアデザイン ウィッグ制作 (試作)	74	メイク "
	30	ヘアデザイン ウィッグ制作 (試作)	75	メイク "
	31	ヘアデザイン ウィッグ制作 (試作)	76	メイク "
	32	ヘアデザイン ウィッグ制作 (試作)	77	メイク "
	33	ヘアデザイン ウィッグ制作 (試作)	78	メイク "
	34	ヘアデザイン ウィッグ制作 (ウィッグ作品制作)	79	メイク "
	35	ヘアデザイン ウィッグ制作 (ウィッグ作品制作)	80	メイク "
	36	イベント ガイダンス、経費見積もり作成、スタイル考案	81	メイク "
	37	イベント スタイル考案	82	メイク "
	38	イベント 制作 (ウィッグ練習)	83	メイク イメージメイク (90年代)
	39	イベント 制作 (ウィッグ練習)	84	メイク "
	40	イベント 制作 (メイク練習)	85	メイク 傷メイク (アザ、切り傷)
	41	イベント 制作 (メイク練習)	86	メイク 傷メイク (火傷、大けが)
	42	イベント 制作 (デモ練習)	87	メイク ハロウィンメイク (ゾンビ)
	43	イベント 制作 (デモ練習)	88	メイク ハロウィンメイク (作品準備)
	44	イベント 制作 (デモ練習)	89	メイク ハロウィンメイク (作品制作)
	45	イベント 制作 (デモ練習)	90	メイク "
	46	イベント 完成作品見直し		【選択授業】
	47	イベント 演出考案	61	アイティスト まつ毛エクステ入門、衛生学、消毒、ワゴンセッティング
	48	イベント 演出考案	62	アイティスト 商材学①、ツイザーワーク①
	49	イベント リハーサル	63	アイティスト ツイザーワーク②、テープワーク
	50	イベント 模擬テスト	64	アイティスト 生理学、病理学、装着レッスン、リムーブ
	51	美容総合技術 ヘアスタイリングについて (似合わせ、効果的なスタイリング方法)	65	アイティスト 商材学②、テープワーク、装着

52	美容総合技術 スタイリング剤の種類 (トリートメントタイプ、クリームタイプ、ワックス、スプレー)	66	アイティスト 装着レッスン
53	美容総合技術 ヘアアイロンの使い方 (カールアイロン、ストレートアイロン)	67	アイティスト 病理学
54	美容総合技術 ”	68	アイティスト 装着レッスン
55	美容総合技術 スタイリング剤の使い方	69	アイティスト カウンセリング学、カウンセリング
56	美容総合技術 ”	70	アイティスト 装着レッスン
57	美容総合技術 スタイリング考案	71	アイティスト 装着レッスン
58	美容総合技術 カウンセリング 相モデル	72	アイティスト 装着レッスン
59	美容総合技術 ヘアスタイリング実践 相モデル	73	アイティストン アフターカウンセリング学、アフターカウンセリング
60	美容総合技術 ”	74	アイティスト 装着レッスン
	<b>【選択授業】</b>	75	アイティスト 装着レッスン
61	テクニカル ヘアスタイルについて (似合わせ、効果的なスタイリング方法)	76	アイティスト デザイン学、デザインカウンセリング
62	テクニカル フォルムとシルエット (美しいヘアスタイルを考える)	77	アイティスト 装着レッスン
63	テクニカル デザイン考案 (ヘアデザインのポイント、見せ方)	78	アイティスト 接客学、装着レッスン
64	テクニカル ”	79	アイティスト 装着レッスン
65	テクニカル ヘアデザイン画作成	80	アイティスト 装着レッスン
66	テクニカル ”	81	アイティスト マーケティング学
67	テクニカル ウイッグ制作 (ブランドカット)	82	アイティスト 下まつ毛装着レッスン
68	テクニカル ”	83	アイティスト 下まつ毛装着レッスン
69	テクニカル ウイッグ制作 (セニングカット)	84	アイティスト 装着レッスン
70	テクニカル ”	85	アイティスト 装着レッスン
71	テクニカル ウイッグ制作 (ヘアカラー)	86	アイティスト 試験対策 (学科)、模擬試験 (実技)
72	テクニカル ”	87	アイティスト 模擬試験 (実技)
73	テクニカル ウイッグ制作 (メイク、デコレーション)	88	アイティスト 定例試験 (実技)
74	テクニカル ”	89	アイティスト 定例試験 (実技)
75	テクニカル ウイッグ制作 (スタイリング)	90	アイティスト 松風公認試験 (筆記)
76	テクニカル ウイッグ制作発表		
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の前平均で評価する		
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。		